

令和7年7月31日

大山町議会議長 吉原美智恵様

大山町議会議員 浅田 龍太郎

令和7年大山町議会議員研修報告書

1	研修名	令和7年度鳥取県町村議会広報研修会
2	日時	令和7年7月25日（金）
3	出席者	議員：豊哲也、小林直哉、浅田龍太郎 事務局：林原彰吾（随行）
4	研修地	三朝町「溪泉閣」
5	研修内容	題目：「議会広報クリニック～読んでもらえる議会だよりへ～」
6	研修結果 又は概要 （意見・感想）	1. 概要 講師：（一社）日本経営協会 中本 正樹 氏 プログラム 1. 議会だより 5つのポイント 2. やってはいけない！？デザイン10のポイント 3. 各議会だより個別クリニック 2. 感想 研修会に参加させて頂き、ありがとうございました。 本研修では、広報紙の編成やデザイン等、作る側が気を付けるべきポイントを学び、その学んだ内容を通して、実際に発刊された議会広報紙を見ながら、良いところや改善点について意見交換を行うという内容でした。聞くだけではなく、自分が感じたことを他者と意見交換することで、自分のスキルに落とし込んでいくといった、今後に生かしやすい研修だと感じました。 議会広報を作る目的として、住民の方に自分の住んでいる町について知ってもらいたい、そこに興味を持って参画してもらいたいという思いがあります。住民にとって一番身近な情報元がこの広報紙であることから、読んでもらうではなく、思わず手に取って見てみたいと思えるような広報紙にしなければなりません。そのためには、単に議会の内容を伝えるだけでなく、住民のニーズを反映し、住民視点で知りたい情報をいかに取り入れるか、どれだけの参画を得られるかが今後の課題だと感じました。 また、さまざまな意見を取り上げることができるのが、議会広報の特色の1つです。こういった議会広報ならではの特色を生かし、他の広報誌との差別化を図ることで、手に取ってもらえる広報紙にしていきたいと思います。今後の広報誌作成において、学んだことを活かしていきたいと思います。